

パナマ共和国 カルロス・ペレ大使の表敬訪問

当協会は、(2024 年 9 月にも離任予定の) カルロス・ペレ駐日パナマ共和国大使の表敬訪問を受け、明珍会長、土屋副会長、篠原理事長らと会談を行いました。概要は以下の通りです。

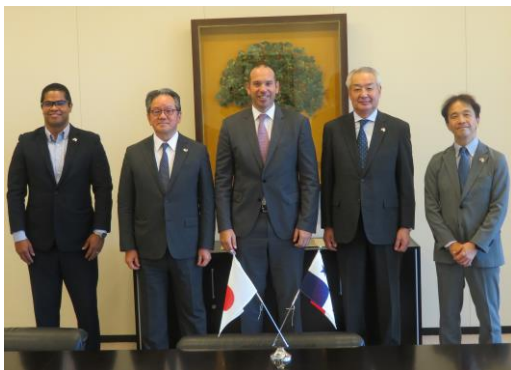
【面談概要】

日付：2024 年 7 月 11 日（木）

場所：川崎汽船

出席：パナマ共和国) カルロス・ペレ駐日大使、
サムエル・ゲバラ セグマル東京チーフ、他
日本船主協会) 明珍会長、土屋副会長、篠原理事長、他

会談では冒頭、明珍会長より、ペレ大使が当協会会長とコルティソ大統領（共に当時）の会談実現に向けた尽力（2023 年 3 月）や、パナマ運河庁（ACP）への意見発信に向けた協力など、日本の海運業界に多大な貢献をされたことや、日本とパナマの友好関係の発展に寄与されたことに謝意を表明。その上で、離任後も引き続き当業界の発展や円滑な国際物流の確保に向けた理解や協力を要請しました。これに対し、ペレ大使からは、2019 年 10 月の着任以降を振り返りつつ、当協会をはじめとする日本の海運業界とパナマの友好関係が更に強化されることが肝要で、次期大使に期待している旨の発言があり、両国間の関係維持の重要性を再確認しました。



写真：左からゲバラチーフ、明珍会長、ペレ大使
土屋副会長、篠原理事長